

研究課題名

「舌骨下やリンパ節への I-131 集積は分化型甲状腺癌患者に対する低用量アブレーションの成否に影響するか」 (“Does I-131 uptake in the subhyoid portion or lymph nodes affect the outcome of low-dose ablation therapy for patients with differentiated thyroid cancer?”)

に関する情報公開

1. 研究の対象

2012年2月24日から2018年8月31日までに甲状腺の手術の後に当院で投与量1110MBqの放射性ヨウ素（I-131）アブレーション治療を受けられたかた

2. 研究目的・方法・研究期間

甲状腺癌術後患者に対して、残存甲状腺組織焼灼の目的で I-131 治療（アブレーション）が行われます。治療後には頸部の残存している甲状腺組織やリンパ節に I-131 が集まりますが、その集まる部位は、患者さんごとに異なっています。従来からの画像（プラナー画像）では、頸部のどこに I-131 が集まっているかを詳細に特定することが困難でしたが、CT 画像と重ね合わせた画像（SPECT/CT といいます）を用いることで集まっている部位を正確に特定することが可能になりました。そこで、我々は、アブレーション後の SPECT/CT で I-131 が集まっている部位を特定し、その部位によって、アブレーション治療の成績に差があるかどうかを検討することにしました。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、患者情報（年齢・性別、病期）、画像（ヨウ素シンチグラフィ）、血液生化学所見（血液検査の結果）、病理所見等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学医学部附属病院放射線科
電話 052-744-2327 担当 伊藤 信嗣

研究責任者：上記責任者